

ひびき

山梨県立甲府支援学校

TEL 055-226-3322

URL <http://www.yogoy.kai>

夜の虫の声に秋の深まりを感じる時期となりました。芸術の秋、スポーツの秋、読書の秋…。
過ごしやすい気候の中で、それぞれの「秋」を楽しみたいですね。

さて今回は、外部専門家についての紹介と、肢体不自由のあるお子さんの困難さを理解した指導・支援、合理的配慮の考え方についてお伝えします。

【外部専門家の紹介】

<PT(理学療法士)>

高村 裕子先生
荒井 望 先生
五味 亮子先生
服部 慎 先生

<OT(作業療法士)>

高見澤 幸恵 先生
伊東 仁香 先生
木村 千優 先生



7名の外部専門家が
支援を行っています。

PT(理学療法士)とは？

動作の専門家です。姿勢、運動、動作の支援や環境調整、補装具等の適切な活用等を、運動発達面から助言します。

OT(作業療法士)とは？

作業療法士は、日常生活の中にある種々の活動や行動を【人】、【作業】、【環境】の視点から分析する専門職です。

～本校での活用事例～

- 肢体不自由児にかかわるのが初めてなので、身体の動きについて一緒に実態把握をしてほしい。
- 机やいすの高さが合っていないようなので、適切な高さに調整してほしい。
- 手元を見て教材を操作するためには、どのような姿勢が良いか。
- 筆記用具や食具等、使いやすくするための補助具をアドバイスしてほしい。

～支援地域での活用事例～

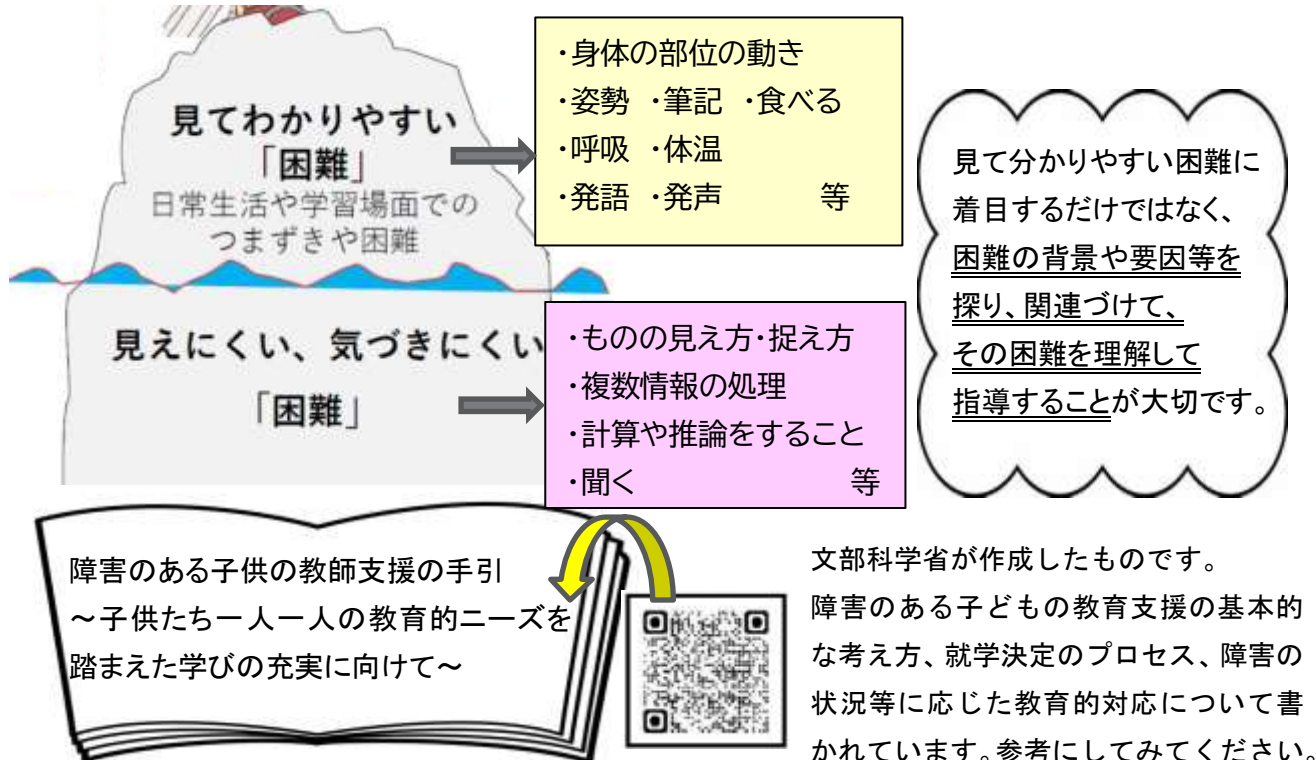
- 体育や運動会での支援について知りたい。
- 自立活動で取り組んでいる身体へのかかわり方を教えてほしい。
- 手すりの設置やトイレの改修について助言がほしい。
- 麻痺がある手の機能向上に向けた取り組みについて知りたい。
- 肢体不自由のある児童生徒の災害時の避難はどのように対応したら良いか。

指導で悩んでいることがあったら、ぜひご相談ください。
詳細は本校 HP にて掲載しております。



7月29日に、肢体不自由特別支援学級担当者学習会を本校で開催しました。
本校校長より、「肢体不自由児の困難性と指導・支援、合理的配慮について」と題して、県内の肢体不自由特別支援学級の先生方にお話をしました。その一部を抜粋してお伝えします。

【肢体不自由のある児童生徒の「困難さ」に着目した理解】（文部科学省 視学官 菅野和彦）



【合理的配慮の考え方】



☆当事者が社会的障壁の除去を必要としている場合に行うのが「合理的配慮」です。合理的配慮の土台となるのが「基礎的環境整備」です。市町村の財源状況や学校・施設の体制によって基礎的環境整備は異なります。基礎的環境整備が十分に整っていると、個別の配慮が少なくてもみんなが一緒に参加できますね。合理的配慮は配慮を提供する人が過重な負担にならないように行います。

☆合理的配慮にはいくつかの観点があります。身体面へのサポートだけでなく、集団における人間関係、学習への見通しを持たせることなどの心理面、健康状態により学習内容・方法を調整するなどの健康面への配慮も必要です。また、災害時等の支援体制の整備も合理的配慮の1つです。災害時体制マニュアルの整備などを通して、一人一人の障害に応じた対応を考えていきましょう。

外部専門家の活用、本校特別支援教育コーディネーターによる訪問支援は随時行っています。
お気軽にお問い合わせください。



山梨県立甲府支援学校 地域支援係
TEL 055-226-3322
e-mail chiikishien@yogoy.kai.ed.jp
URL <http://www.yogoy.kai.ed.jp/>